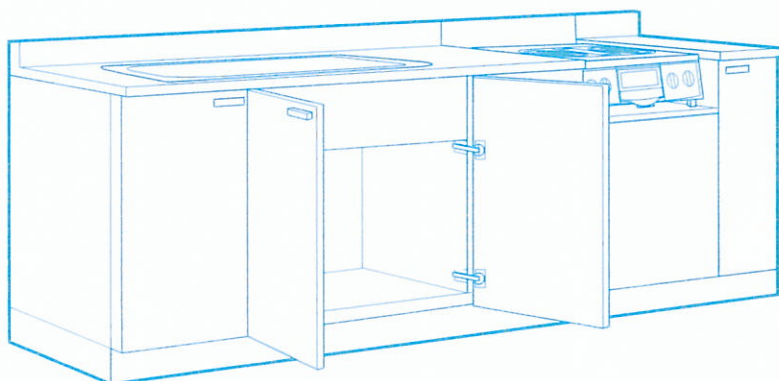
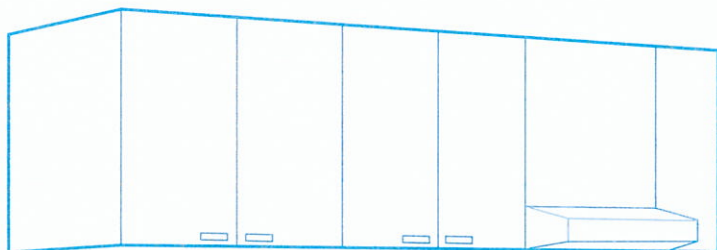


タカラキッチンセット

取扱説明書／保証書付（お客様へ）

設置説明書（設置される方へ）



もくじ

取扱説明書

ページ

- 1.各部の名称……………1
- 2.安全上のご注意……………1～4
- 3.使用方法……………5～8
- 4.お手入れのしかた……………8～9
- 5.『故障かな?』と思ったら……………9
- 6.アフターサービス……………10

設置説明書

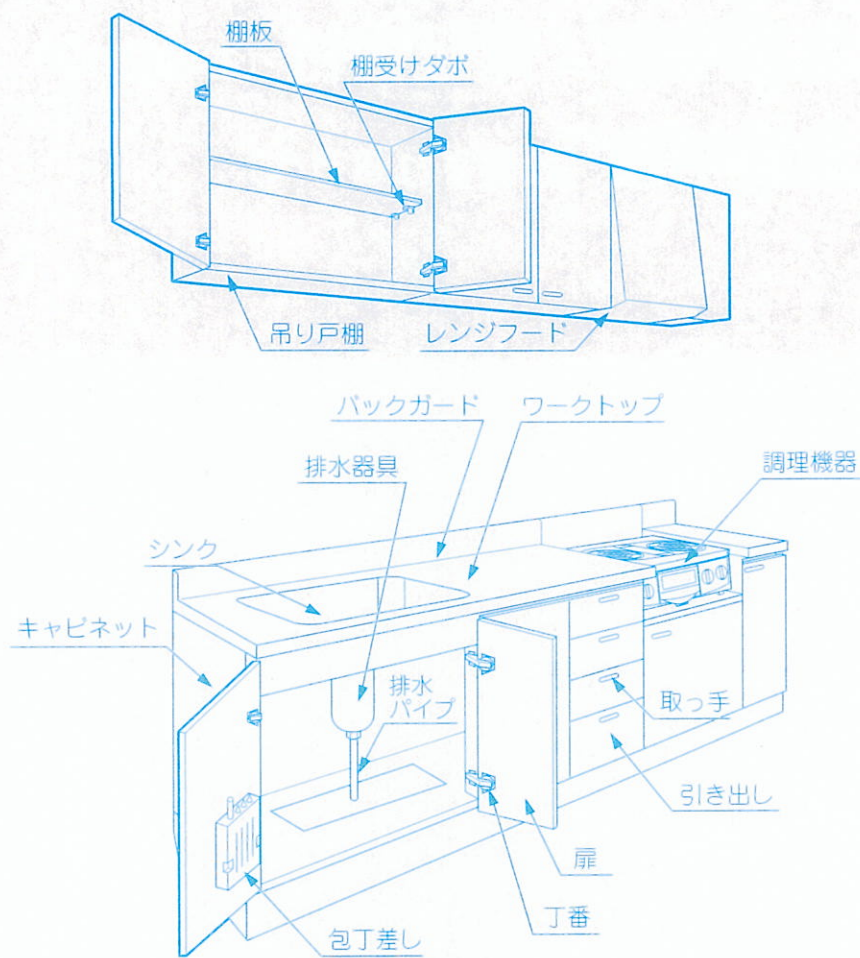
- 1. 設置される方へのお願い ……11
- 2. 安全上のご注意 ……11～12
- 3. 設置と扉調整 ……13
- 4. 排水工事 ……14
- 5. 仕上げ ……14
- 6. 安全点検および試運転 ……14

保証書……………15

このたびは、タカラ キッチンセットをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
またお読みになった後は、吊戸棚、食器乾燥機、レンジフード等の機器の取扱説明書と共に、いつでもご覧になれる所に大切に保管してください。

タカラスタANDARD株式会社

1.各部の名称



2.安全上のご注意

必ずお守りください。

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重大な内容ですので、必ずお守りください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいいけない「禁止」の内容です。



この絵表示は、「接触禁止」の内容です。



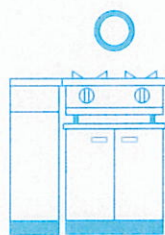
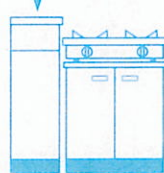
この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

- 流し台（調理台）の天板より低い位置にガステーブル（こんろ）を設置しないでください。



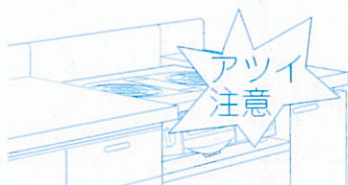
流し台
天板



- 発熱により、火災の原因になることがあります。

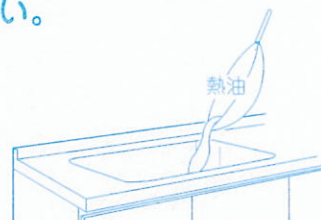
⚠ 注意

- 調理機器の使用時、使用直後は、調理機器周辺に手をふれないでください。



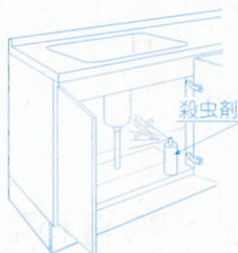
- 調理機器周辺の表面温度が高くなっている
ので、ヤケドのおそれがあります。

- 熱湯や、てんぷら油を直接排水口に流さ
ないでください。



- 排水器具が変形したり、排水パイプに穴が
あいて、水漏れの原因になります。

- 排水器具や排水パイプに殺虫剤を吹き付け
ないでください。



- 排水パイプが変形したり、割れたりして水
漏れの原因になります。

- 扉や取っ手にぶら下がったり、扉を大きく
開けすぎないでください。



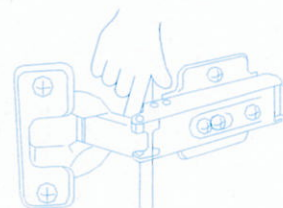
- 扉や取っ手がはずれて、
ケガをするおそれがあり
ます。

- ワークトップの上に乗ら
ないでください。



- 人がすべって落ちたり、キャビネットが転倒
したりして、ケガをするおそれがあります。

- 扉開閉時に丁番にさわらないでください。



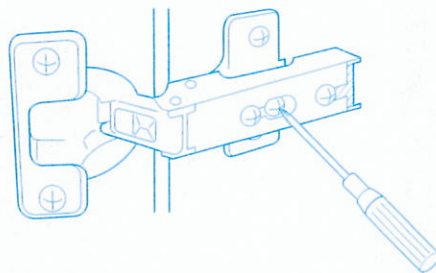
- 丁番に指をはさんでケガをするおそれがあり
ます。特にお子さまにはご注意ください。

必ずお守りください。(安全上のご注意)のつづき

- 扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のネジをしめなおすか、販売店にご連絡ください。
※丁番のなおし方：5ページ3 (2)をご覧ください。



- 扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。



- 包丁差しの固定ネジがゆるんでガタツキが発生した場合、ネジをしめなおすか、販売店にご連絡ください。



- 包丁差しがはずれて、ケガをするおそれがあります。

- 棚板の位置を変える場合、棚受けダボは正しい向きできっちり奥まで差し込んでください。

※6ページ(3)をご覧ください。



- 棚板、食器類が落下し、ケガをするおそれがあります。

- 排水の流れが悪くなったら排水器具や排水パイプにゴミ等がつまっていないか確認し、取り除いてください。



- 知らずに水を出し続けると、シンクから水があふれるおそれがあります。

〈耐震ラッチが取り付けられている場合〉

- 地震の後、最初に扉を開ける時には、収納物が扉にもたれかかっていないか確認してください。



- 収納物が落下してけがをするおそれがあります。

⚠ 機器使用上の注意

- キッチンに組み込まれている機器、器具等については、それぞれの取扱説明書及び本体に表示されている事項をお守りください。使い方を誤ると思わぬ事故や、故障の原因となるおそれがあります。



⚠ 台所用品の取扱注意

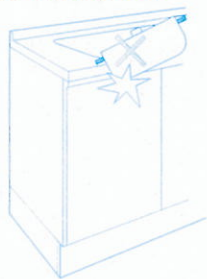
- 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。



- 水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。
その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

快適にご使用いただくためにお守りください。

- キャビネット・ワークトップ・キッチンパネル等に硬いもの、鋭利なものを当てたり落としたりしないでください。



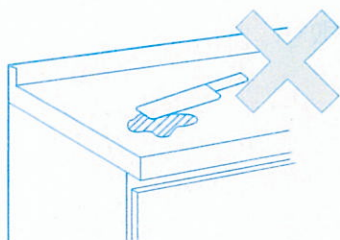
- 傷、カケ等が発生するおそれがあります。

- 引き出し内部には過度に重い物を収納しないでください。



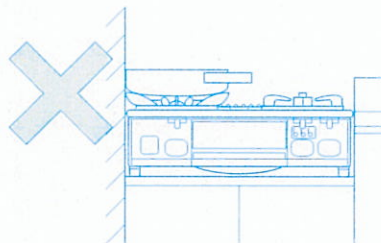
- 引き出しがこわれる原因になります。
- 引き出し収納物の重量は、
ホーロー製キッチン：8kg以下
木製キッチン：4kg以下になります。

- ステンレス製ワークトップ・シンク上にぬれた包丁や缶類などの鉄製のもの、塩素系の洗剤・薬品等を長時間放置しないでください。



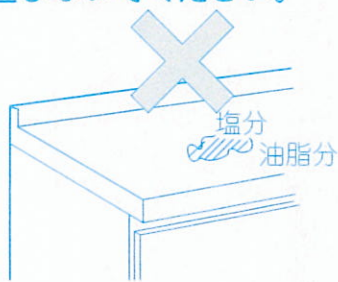
- サビの原因になります。

- 調理をする際、キッチンパネルに鍋やフライパンが直接触れたり、炎が直接当たるような使い方をしないでください。



- キッチンパネルが変形するおそれがあります。

- ワークトップ上に塩分や油脂分等の汚れを長時間放置しないでください。



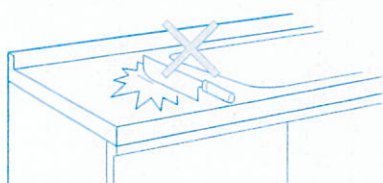
- サビの原因になったり、汚れが取れにくくなったりします。

- 扉、引き出しを開いた状態で強い力をかけないでください。

- 丁番、レール等に損傷が発生し、扉の開閉及び引き出しの出し入れに支障をきたすおそれがあります。

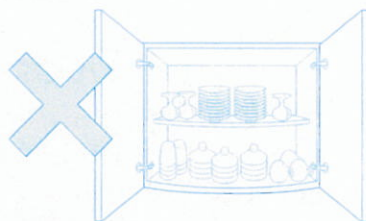


- ワークトップ・シンクの上で、直接包丁を使わないでください。また鍋や食器の扱いに注意してください。



- ワークトップに傷がついたり、包丁の刃のカケの原因になります。

- 棚板に過度に重い物や偏って物を収納しないでください。

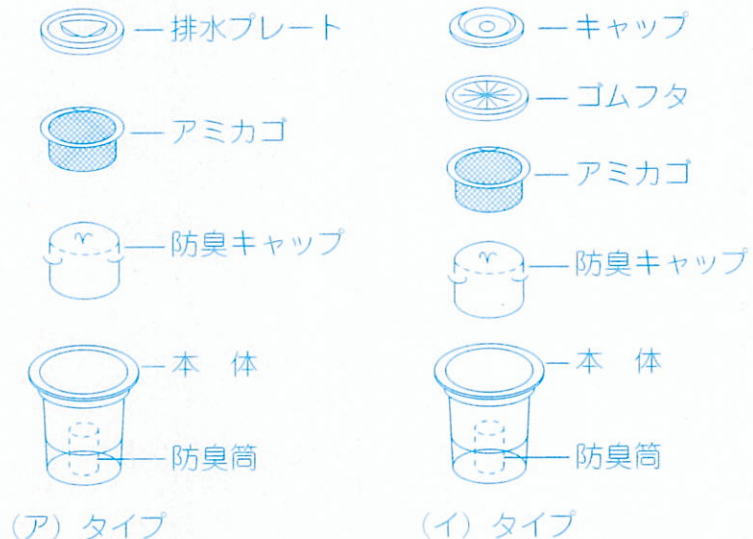


- 棚板が変形するおそれがあります。
(間口10cm当たり2kg以上は避けてください。)
(例：60cmの棚板1枚につき12kg以下。)

3.使用方法

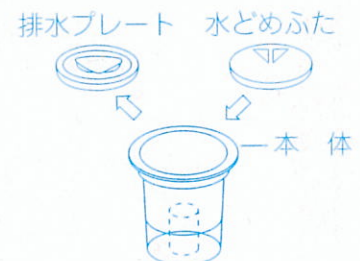
(1) 排水器具の取り扱い方法

※排水器具は、右図の2タイプがあります。



- ① (ア) タイプの場合、食品のクズやカスは排水プレートの穴から直接入れてください。
- (イ) タイプの場合、食品のクズやカスはキャップを開けてゴムフタの上から直接入れてください。
- ②クズの処理は、排水プレートもしくはキャップとゴムフタを取り、アミカゴを取り出して捨ててください。
- ③きれいに使用いただくためにクズを捨てたあとのアミカゴは、中性洗剤で洗ってください。
- ④防臭キャップは、下水からのニオイをシャ断するための部品です。清掃時以外は必ず装着しておいてください。防臭キャップは左に回すとはずれ、右に回すと固定されます。
- ⑤本体底部には防臭用の水が常に溜まっています。この水が凍結した場合は、排水できませんので70～80℃程度の湯で徐々にとかしてから使用してください。
- ⑥(ア)タイプの場合でシンク内に水を溜める場合は、排水プレートをはずして別売部品の水どめふたを使用してください。

ご注意：塩素系の[ヌメリ取り剤]・[ヌメリ防止剤]等の薬品は、シンクや金属製アミカゴのサビ発生の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。



(2) 丁番の調整方法 *調整にはドライバーが必要です。

扉がガタついたり、扉に段違いが発生した場合は、下記の要領に従って締め直し又は調整行ってください。

※丁番には(イ)～(ホ)の5タイプがあります。

〈スライド丁番の場合〉

①扉ガタツキの修正方法

Aのネジをしっかり締め込んでください。

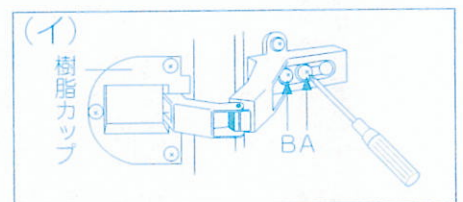
②扉の前後方向の調整方向

Aのネジをゆるめて丁番を移動させ、再度Aのネジを締め込んでください。

③扉の左右方向(段違い)の調整方法

●(イ)の場合

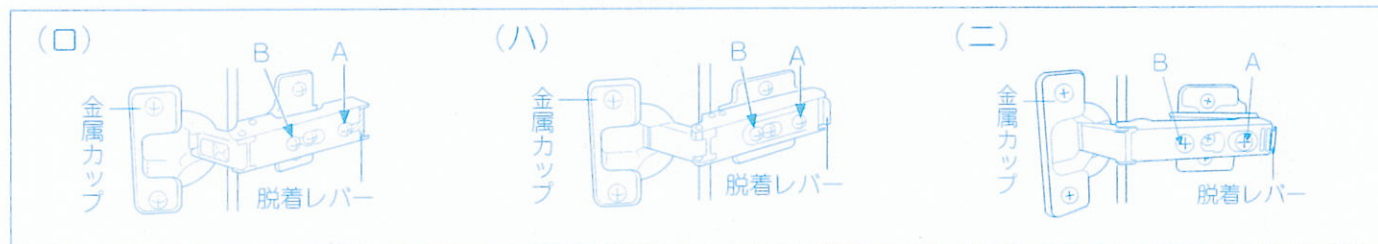
Aのネジをゆるめた後、Bのネジの締め込み代で調整し、再度Aのネジを締め込んでください。



〈ホーロー扉スライド丁番タイプ〉

●(□)(ハ)(ニ)の場合

Bのネジの締め込み代で調整してください。

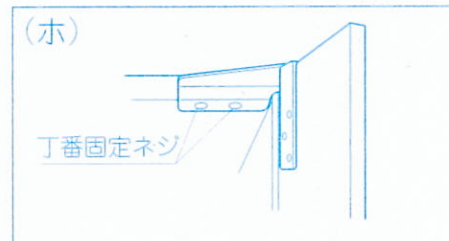


〈木製扉スライド丁番タイプ〉

〈軸丁番の場合〉

●扉ガツキの修正方法

扉側または、キャビネット側の丁番固定ネジをしっかり締め込んでください。



〈軸丁番タイプ〉

(3) 棚板の位置を変える場合

棚受けダボにはA・B・Cの3タイプがあります。(図1)



図1

① Aタイプの場合

棚受けダボを引き抜き、抜いたダボを希望の位置に「パチン」と鳴るまで差し込んでください。

棚受けダボの上にそのまま棚板を設置してください。(図2)

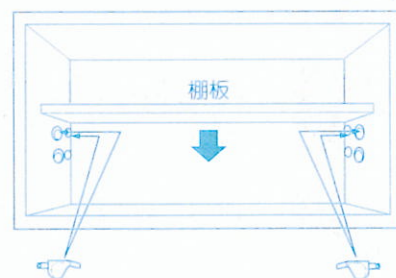


図2

② Bタイプの場合

前用の右タイプ、左タイプと後用の3種類の棚受けダボがあります。

棚受けダボを引き抜き希望の位置にきっちり奥まで差し込んで、前用棚受けダボの前部ガイドに収まるように棚板を設置してください。(図3)

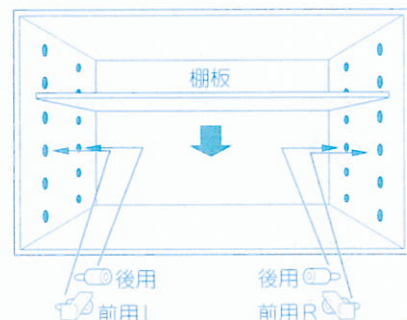


図3

③ Cタイプの場合

●棚板のはずし方

前側のダボの上部に親指をかけ、手前にはじいてください。(図4)

●棚受けダボの取り付け方

図5に従って希望の位置にダボをしっかり奥まで差し込んでください。

●棚板の設置の仕方

奥のダボに棚板を差し込み、次に前のダボの上から棚板を押し込んでください。(図5)

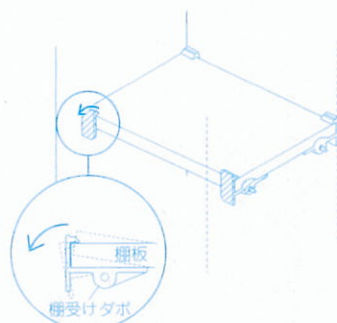


図4

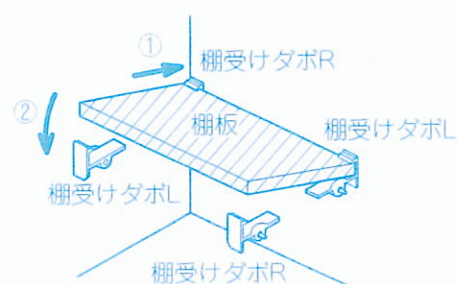


図5

(4) 引き出しのはずしかた

① ホーロー製・樹脂製引き出しの場合

引き出しをいっばいにひきだした後、上へ持ち上げながら引き抜いてください。(図6)

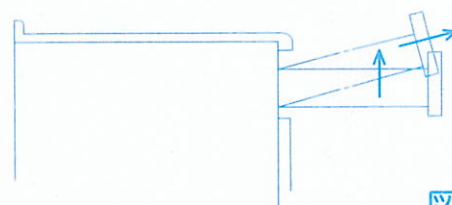


図6

② 木製引き出しの場合

引き出しを半分ほどひきだし、ストッパーを下図のように回転させた状態で引き抜いてください。(図7)

また、引き出しをセットした後、ストッパーがきいていることを確認してください。

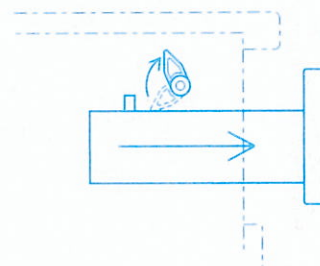


図7

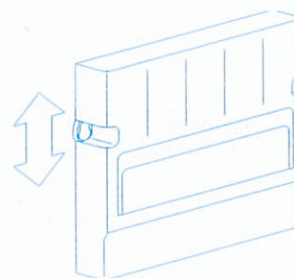
(5) 包丁差しの着脱のしかた

● 取りはずしかた

① 包丁差し本体両サイドのダルマ穴にスリーブで引っかけていますので、上へ引きあげてはずしてください。

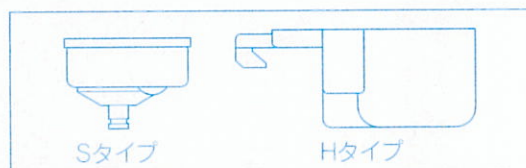
● 取り付けかた

① スリーブにダルマ穴を差し込んで、“カチッ”と音が鳴るまで降ろしてください。

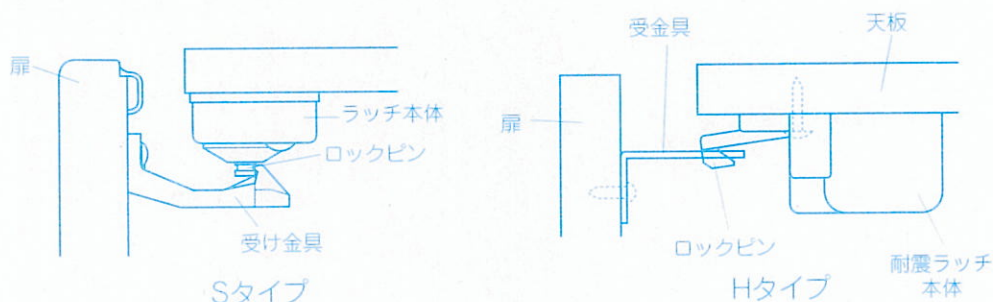


(6) 耐震ラッチが取り付けられている場合

耐震ラッチにはS・Hの2タイプがあります。



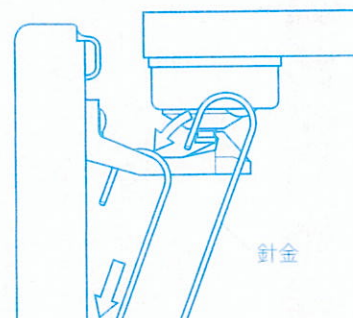
- 耐震ラッチは、地震等の揺れが発生し扉が開きかけた時に、ロックがかかって扉が全開するのを防ぎます。(このとき、扉は2～3cm開きます)



- 通常使用（扉の開閉）においては、ラッチは作動せずロックはかかりません。
- 扉の開閉は、力を入れずやさしくおこなってください。
- 地震等の揺れで扉がロックした場合は、一度扉を閉め直し、揺れがおさまってから開いてください。

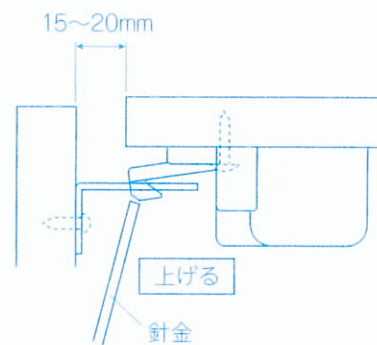
Sタイプは揺れがおさまるとロックは自動的に解除されます。ただしキャビネットが傾いた場合はロックが解除されませんので、次の順序でロックを強制解除してください。

- ① 扉の隙間より針金を曲げたものなどを差し込み、受け金具に引っかけてください。
- ② 一度扉を閉じてください。
- ③ 針金を下方に引きながら扉を開けてください。



Hタイプは揺れがおさまるとロックは自動的に解除されます。ただしキャビネットが傾いた場合はロックが解除されませんので、次の順序でロックを強制解除してください。

- ①扉の隙間を15～20mmに保持してください。
- ②扉の隙間より針金等細いものを差し込み、ロックピンを押し上げながら扉を開けてください。



ご注意：強制解除後の耐震ラッチは必ず新しいものと交換してください。

4.お手入れのしかた

いつまでも美しく快適にご使用いただくためには日頃のお手入れが大切です。なお安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋の着用をおすすめします。

ワークトップ・シンクのお手入れ

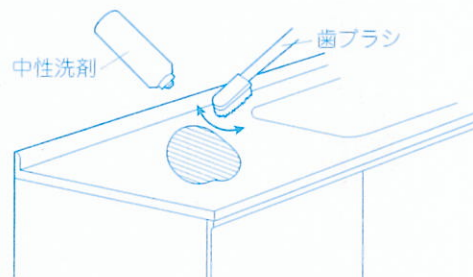
油脂分、汚れ、水あか等は、柔らかい布かスポンジに中性洗剤をつけてふき取り、水で十分洗い落としてから乾いた布でふいてください。

・落としにくい場合

こびりつき等落ちにくい場合は、水に浸した後、歯ブラシなどを用い中性洗剤でこすってください。それでも落ちにくい場合は、粒子の細かいクリームクレンザー（液体）を使用してください。その後、水ぶきしてクリームクレンザーを完全にふき取ってください。最後に乾いた布で水分を完全にふき取ってください。

・サビが付着した場合

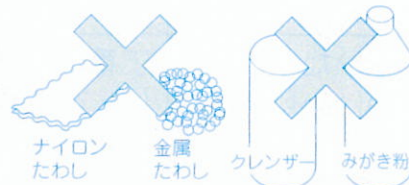
サビが付着した場合は粒子の細かいクリームクレンザー（液体）を使用してふいてください。その後、水ぶきしてクリームクレンザーを完全にふき取ってください。最後に乾いた布で水分を完全にふき取ってください。



・キズがついた場合

やわらかい布かスポンジに粒子の細かいクリームクレンザー（液体）をつけ、みがいてください。その後、水ぶきしてクリームクレンザーを完全にふき取ってください。最後に乾いた布で水分を完全にふき取ってください。

ご注意：ナイロンたわし、金属たわし、粒子の粗いクレンザー、ミガキ粉類を使用すると表面に傷がつくおそれがありますので、絶対使用しないでください。また塩素系の洗剤、漂白剤もサビ発生の原因となりますので絶対使用しないでください。



キャビネット、扉部のお手入れ

- ホーロー製キャビネット、扉、キッチンパネルの場合
汚れがついた時は、水又は温水を浸した布でふいてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をつけてふき取り、水ふきしてから、からふきしてください。
- 木製キャビネット、扉の場合
汚れがついた時は中性洗剤をつけた布でふき取った後、かたくしぼった布で余分な洗剤をふき取ってください。
- プラスチック製部品の場合
汚れがついた時は、水又は温水を浸した布でふいてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をつけてふき取り、水ふきしてからからふきしてください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



5. 「故障かな？」と思ったら

アフターサービスをお申し付けになる前に、つぎの点をお調べください。

現象	確認事項	処置
排水の流れが悪い。	アミカゴにゴミがつまっていますか。	アミカゴを掃除してください。
	排水器具の本体底部にゴミがつまっていますか。	防臭キャップをはずし掃除してください。
	排水パイプがつまっていますか。	排水パイプ用洗剤を使用してパイプの掃除をしてください。
	排水器具の本体底部が凍結していませんか。	70～80℃程度の湯で徐々に溶かしてください。
排水器具、パイプの接続部より水漏れがする。		点検修理依頼してください。
扉が傾いたり、扉がガタついたりする。	丁番の固定ネジがゆるんだり、丁番が変形したりしていませんか。	ネジがゆるんでいる場合は、締め直してください。それでも直らない場合や丁番が変形している場合は、点検修理依頼してください。

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときはお買い求めの販売店またはP10に記載のフリーダイヤルへご連絡ください。

6.アフターサービス

タカラシステムキッチンのアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならない時は、下記フリーダイヤルへご連絡ください。



0120-557-910

受付時間 9:00~18:00（土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品名
- (2) 機種名（検査合格証に記載がある場合）
- (3) 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- (4) ご住所・ご氏名・電話番号・道順

●修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

設置説明書 (設置される方へ)

1. 設置される方へのお願い

この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。

設置後は、本説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失せぬようにおさめておいてください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください。

設置作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

● お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

設置終了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

警告



電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。

接続や固定が不完全な場合、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。



キッチンパネルを取付ける下地については、火災予防条例にしたがい、有効な防火性能を有する仕上がりであることを、必ず確認してください。

下地処理が不十分な場合は、火災の原因になることがあります。

注意

排水器具・排水ホースの取付け及び接続部分のシールは確実に行ってください。



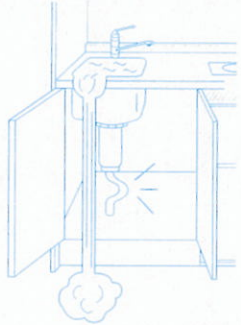
取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。

設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。



扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。



排水能力が低下して、シンクから水があふれ、床を汚すおそれがあります。

棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。



扉受けがはずれ、食器などが落下してけがをするおそれがあります。

キッチンに組込まれる電気製品・調理機器・レンジフード・及び水栓金具等は、それぞれの設置説明書・製品本体の表示事項を守り正しく設置してください。



設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示に当たって、正しくお使いください。



誤った使い方をすると、人体に影響がでたり、使用部材の損傷や劣化の原因になるおそれがあります。

快適にご使用いただくために必ずお守りください。

- 設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールをひく等の養生を施し、キズがつかないように十分注意してください。

- 設置中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

- 汚れを取る場合は水ぶき又は中性洗剤をご使用ください。溶剤系統の薬品や漂白材等は絶対使用しないでください。表面が浸されるおそれがあります。

3.設置と扉調整

- 設置前に設置場所に木くずやゴミなどがいないか確認してください。木くずやゴミ等が製品の下敷になっている場合や床面が凸凹になっている場合は、扉に段違いが発生することがあります。段違いが発生した場合は、下記の点にご注意して調整をお願い致します。

〈スライド丁番の場合〉

① 扉ガタツキの修正方法

Aのネジをしっかりと締め込んでください。

② 扉の前後方向の調整方法

Aのネジをゆるめて丁番を移動させ、再度Aのネジを締め込んでください。

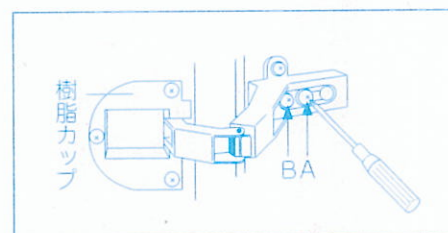
③ 扉の左右方向（段違い）の調整方法

●ホーロー扉の場合

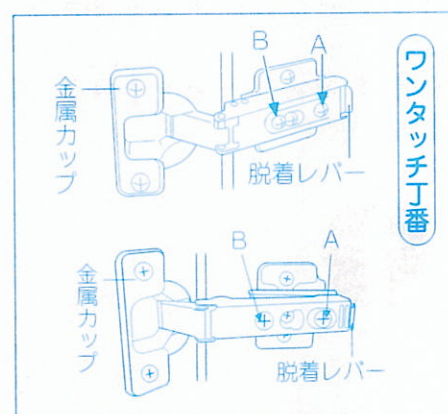
Aのネジをゆるめた後、Bのネジの締め込み代で調整し、再度Aのネジを締め込んでください。

●木製扉の場合

Bのネジの締め込み代で調整してください。



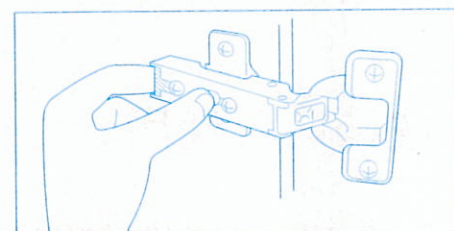
〈ホーロー扉スライド丁番タイプ〉



〈木製扉スライド丁番タイプ〉

●ワンタッチ丁番付扉の取りはずし方

中央の穴を押さえた状態で、脱着レバーを押しあげてください。



〈軸丁番の場合〉

① 扉ガタツキの修正方法

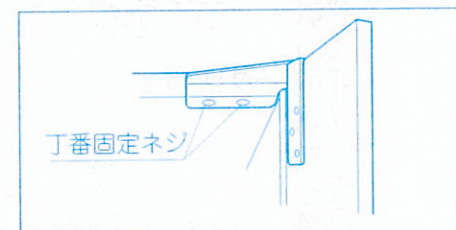
扉側または、キャビネット側の丁番固定ネジをしっかりと締め込んでください。

② 扉の左右方向（段違い）の調整方法

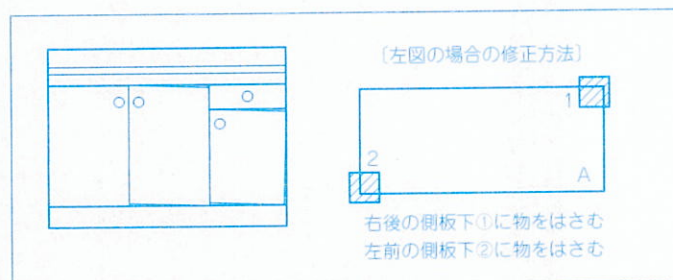
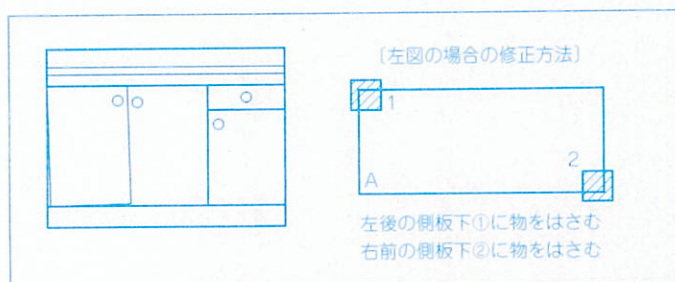
段違いの状態によって下図のように物をはさんでください。

はさむ物は薄いプラスチック板、ベニヤ板等を入れてください。

次に天板のA位置の角を床にむかって力を加えて、扉の上端が一直線になるように調整してください。



〈軸丁番タイプ〉



4.排水工事

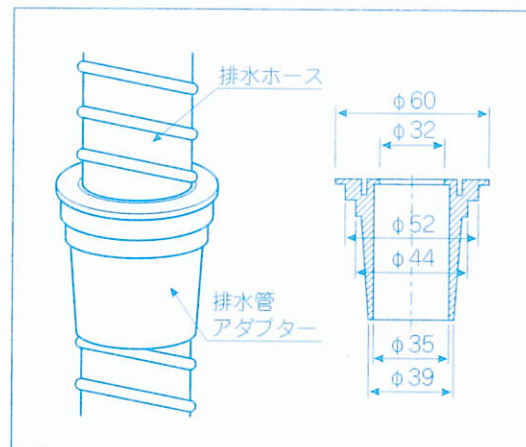
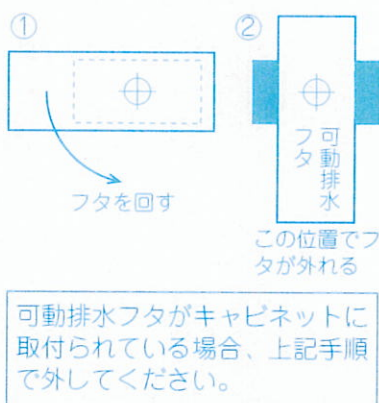
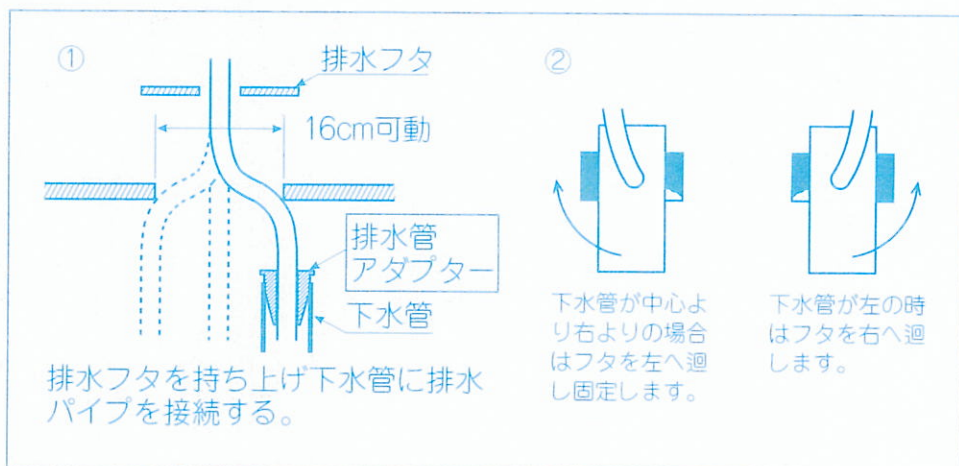
排水ホース可動排水フタの穴に通してください。

排水管アダプターを排水ホースのらせん状のみぞにそってねじりながら動かし、排水ホースの長さを調節してください。

排水管アダプターを下水管に差し込み隙間のないように完全にシールしてください。

配水管アダプターは、
VP-40（内径φ40）、
VU-40（内径φ44）、
VP-50（内径φ51）の
配水管にぴったり接続できます。

可動排水フタを流し台の排水口にセットしてください。



5.仕上げ

ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとってください。

ご注意：シンナー・ベンジン等の使用は絶対避けてください。
商品をいためるおそれがあります。



6.安全点検および試運転

① 安全点検

扉の確認

扉の傾き、がたつきや丁番のゆるみがないことを確認してください。

排水部の確認

排水トラップ及び排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

② 組込機器の試運転

キッチンに組込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順に従って正常に作動することを確認してください。

7.お願い事項

① 商品の養生

●すべての作業が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

② 取扱説明書の保管・引渡し

●キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、ベースキャビネットの引出しに収納しお引き渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

③ 梱包材その他部材の処理

●不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。

保証書

お名前		様		品 名	キッチンセット
お 客 様	〒 ご住所			保証期間	お買い上げ日から 1 年間
	TEL ()				
販 売 店	TEL ()				
お買上日	年 月 日				

見本

- 本保証書は、当社のキッチンセットで使用する製品及びそれに付帯する部品を対象とします。
- 取扱説明書に保証書が添付されている関連商品については、各々の保証書記載内容によります。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店又はP10に記載のフリーダイヤルに出張修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店又はP10に記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お取付後の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 凍結した場合の損傷。
 - (ヘ) 鉄分などによるもらいサビ、及び水滴の放置などによる汚れの付着、損傷。
 - (ト) 本書のご提示がない場合。
 - (チ) 本書にお客様名、販売店名、お買い上げ日の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (リ) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はP10に記載のフリーダイヤルへお問い合わせください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

TEL 06-6962-1531